

## 令和5年度 第1回釜石市環境審議会議事録

1. 開催日時 令和5年7月28日（金）15時30分～17時
2. 開催場所 釜石 PIT 多目的集会室
3. 出席委員 10名  
田村良彦委員、大橋祐子委員、高澤友子委員 佐々木かよ委員  
高橋幸男委員、山口邦子委員、加藤直子委員、古川幹敏委員  
千葉まき子委員、河東英宜委員
4. 欠席委員 2名 中馬慶子委員、山元一輝委員
5. 傍聴人 なし
6. 事務局 4名  
平野市民生活部長、二本松生活環境課長、山崎課長補佐、菅野主事
7. 議 題
  - (1) 議案第1号：釜石市環境審議会会長及び副会長の選出
  - (2) 諮問第1号：SMC株式会社との環境保全協定 一部改訂
  - (3) 報告第1号：令和4年度 環境保全事業計画実施報告
  - (4) 議案第2号：令和5年度 環境保全事業計画（一部経過報告）
  - (5) 議案第3号：釜石市環境基本計画策定の進捗

### 1. 開 会

○二本松生活環境課長が開会を宣言。

### 2. 釜石市長挨拶【要旨】

- ・今日は皆さんご多用のところ、そしてまた暑いところご出席いただきまして誠にありがとうございます。
- ・皆様の任期は遡って4月1日から2年間の任期でございますので、どうぞ皆様の忌憚ないご意見をいただきながら、釜石市の環境を守っていただければありがたいと思っております。
- ・今日のメインは環境基本計画だと思いますが、残念ながら今ある計画の期間が過ぎており、これには震災の影響もあり、なかなか次の計画策定まで手が回らなかったということもありますが、いずれ新たな計画を策定しなければならないというところで、おそらく前回の審議会から皆様にお話しているかと思えます。
- ・環境基本計画はまさにこの環境審議会で作っていくということになりますので、これが一番のテーマでございます。
- ・新しい国の方針や目指すべき方向性などに我々も足並みを揃えながら、釜石市の環境を守っていきたいと思っております。
- ・委員の皆様におかれましては、市民の皆様の声聞きながら、ぜひ様々な視点からのご意見をお願いしたいと思っております。

### 3. 環境審議会会長挨拶【要旨】

- ・今年の夏は全国的に猛暑ですが、まさに地球温暖化の影響といわれております。そういった地球規模の問題から、私たちが普段出すゴミの問題まで、環境の分野はかなり広いですが密接に私たちの生活に関わっています。
- ・環境審議会は、釜石市の環境について審議する場ということで、さまざまな立場で知識をお持ちのみなさんのお力を借りながら、進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 4. 会議成立報告

二本松生活環境課長から、委員総数12名中、出席委員10名で過半数に達しており、釜石市環境基本条例第29条第2項の規定により、本審議会が成立している旨を報告。

### 5. 開催結果

- (1) 議案第1号：釜石市環境審議会会長及び副会長の選出
- (2) 諮問第1号：SMC株式会社との環境保全協定 一部改訂
- (3) 報告第1号：令和4年度 環境保全事業計画実施報告
- (4) 議案第2号：令和5年度 環境保全事業計画（一部経過報告）
- (5) 議案第3号：釜石市環境基本計画策定の進捗

はじめに役員の選出が行われ、(2)及び(5)の諮問・議案について、山崎補佐が資料に基づき説明し、(3)、(4)の報告・議案については菅野主事が資料に基づき説明を行った。その後、質疑応答及び意見交換を行った。

### 6. 委員からの発言・意見

- (1) 議案第1号：釜石市環境審議会会長及び副会長の選出について

会長は釜石市公衆衛生組合連合会の古川幹敏副会長

副会長は沿岸広域振興局保健福祉環境部の田村良彦部長に決定した。

- (2) 諮問第1号：SMC株式会社との環境保全協定 一部改訂について

特になし。

- (3) 報告第1号：令和4年度 環境保全事業計画実施報告について

【委員】和山湿原の巡視は担当課も一緒に行っているのか。それとも一人か。

【事務局】1名の方に委嘱し、その方のみで40日間巡視していただいている。問題等が発生した場合には、担当課や県の担当部署でも現地を視察するなどの対応を行っている。

【委員】市内各所で熊が出没しているため、一人での巡視は危険ではないか。

【事務局】指導員の方からも相談を受けており、県の担当者とも相談しながら二人体制について検討中である。

【委員】悪臭防止のため公害防止パトロールを行っている会社は何の会社か。

【事務局】水産加工業の会社である。

#### (4) 議案第2号：令和5年度 環境保全事業計画（一部経過報告）について

【委員】今年度初めてイオンタウン釜石で自然生活・環境展を開催したが、釜石市の自然の写真が少なく感じた。和山湿原をせっかく40日間も巡視していただいております、写真付きの報告を受けているのであれば、ミズバショウやモリアオガエルの写真を展示してもいいのではないかと。買い物ついでに立ち寄る方もいたので、イオンタウンで開催したことは正解だったと思うが、内容をもっと充実させてほしい。

【事務局】指導員からの報告書はきれいな写真付きで提出されているため、写真の展示について今後検討したい。しかしながら、あまり詳しく周知してしまうと、興味を持った方が生息地に行き、採取してしまう恐れもあるため、そういったことにならないように、情報の出し方を考えながら展示したい。

また、イオンタウンでの開催については、今回初めてであり、出てきた課題もあるため、来年度の開催時は、そういったことも考えながら、多くの方にご来場いただけるように考えたい。

【委員】水質検査の「伝導率」とは何か教えてほしい。

【事務局】高ければ高いほど不純物が多いという数値である。

【委員】大槌町の最終処分場の見学とあるが、何をしているところか。

【事務局】平田に沿岸南部広域環境組合が運営している溶融炉がある。そこには釜石市・大船渡市・陸前高田市・大槌町・住田町の3市2町が一般ごみなどを持ち込んでいる。持ち込んだごみを処分した際に出てくる燃えカスの中のスラグ・メタルなどは道路などに使われるが、そういったものにも使えない灰は、3市2町が持ち込んだごみの割合に応じて、それぞれの市町に返している。大槌町は返された灰を最終処分場に埋め立てている。釜石市では秋田県の最終処分場に持ち込んでいる。

【委員】正しいごみの捨て方や、その効果について広く周知してほしい。

【事務局】2050年カーボンニュートラルを見据えながら、環境基本計画を策定中であり、まさにごみの捨て方などは、周知していく分野であるため、今後ともご指導とご協力のほどよろしく願います。

#### (5) 議案第3号：釜石市環境基本計画策定の進捗について

【委員】二酸化炭素の排出を削減するにはどういった取り組みをすればいいか、また環境に配慮したまちづくりを環境の先進国といわれているオランダやドイツなどから情報収集を行ってほしい。また、釜石市の9割を占めている森林の大切さや、地球温暖化を防止するために、例えばごみを減らすだとか、そういった取り組みを市民の皆様に分かっていただき、一人ひとりがどうしたら良いのかということを考えられるような計画を作っていただきたい。

【事務局】環境基本計画策定委員会の委員の中には、アドバイザーとして大学の先生にも入っていただいております、環境に関する様々な情報をいただいております。また、環境基本計画を作ったからといって全てが解決するとは思っていない。委員の皆様は環境に対する意

識が高いわけですが、そうではない一般の市民の方々の意識も高めていくことが、我々の役目ではないかと考えている。自分一人の小さい努力が、釜石市、日本、ひいては世界の環境につながっていくことを子供たちに教えて、小さい頃からそういった意識を持ってもらえるようになればと思っているため、引き続きご協力のほどよろしくお願いする。

【委員】「光害」についての記載が抜けているかと感じる。星空が見えないなど、外に光が漏れることによって昆虫が寄ってきたりなどしてしまう。これに傘を被せるなどすれば光が抑えられ、電気量も抑えられるというのがある。良い設計の建物を見ると光が漏れていない。そういうところを変えていくということも必要かと考える。また、Ⅲ循環型社会の事業者の取り組みに、イベントなどで使用するプラスチック製品の使用をしないのは難しいと思うので、使用量を減らすという記載があってもいいと思う。ブルーカーボンについては、岩手大学と東京大学に計算式を作ってもらい、釜石市に企業研修にきた企業さんに買ってもらうという仕組みを作っており、まもなく発表できると思う。

【事務局】ブルーカーボンについてはDMCさん、グリーンカーボンについては森林組合さんに取り組んでいただいている。市としての関わり方が難しい部分になるため、引き続きよろしくお願いしたい。

プラスチックのお話もあったが、廃プラスチックに係る法律が新たに施行され、プラスチックごみの分別やリサイクルが努力義務として定められたが、釜石市はまだ仕組みが整備されておらず、市民全体で平田のクリーンセンターでなんでも処分できるという意識が高い。そちらの仕組みづくりについても進めていかなければならない。目標としては令和7年4月を目指しているため、決まった際には分別へのご理解とご協力をお願いしたい。

マイクロプラスチックについて、昨年度こどもエコクラブの活動で海水をペットボトルで採取するというのを行いました、やはり含まれていた。

小学校低学年・中学年・高学年に分けて、学生にマイクロプラスチックについて説明していただきました。こういった活動も啓蒙活動の一つになると思うため、子どもから家庭に広げていけるような活動を担っていければと考えている。

【委員】プラスチックの分別処理を令和7年から開始することを目指すとのことですが、久慈市では、様々なごみを微生物に分解させてエタノールに変えるという実証実験を行っている。プラスチックの分別を進めることは大事だが、今度はそれに伴い、運搬するトラック、分別する機械、集めておく場所など様々な課題が出てくると思うので、そういったことも考慮しながら進めていってほしい。私も久慈市の実証実験については探っていきたいと思うが、ぜひ様々な方法を考えてほしい。

【事務局】把握していなかったため、今後情報を収集する。